

令和 2 年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	公益財団法人水戸市芸術振興財団	
施 設 名	水戸芸術館	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	31,543	(千円)
	公演事業	25,892 (千円)
	人材養成事業	1,759 (千円)
	普及啓発事業	3,892 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概 要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
1	水戸室内管弦楽団 第106 回定期演奏会 (総監督：小澤征爾)	10 月 31 日、11 月 1 日※	主な演目：ブルッフ（フィドラー編曲）：ホル・ニド・ライ 作品 47（フィロ独奏：宮田大） 他※ 出演：水戸室内管弦楽団	目標値	3,450
		水戸芸術館 コンサートホール ATM		実績値	645※
2	カルテット・プレミアム・シリーズ：ベートーヴェン ～時空を超えて～（ベートーヴェン生誕 250 年記念企画）	6 月 6 日 他（中止）※	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入国制限および入国後の行動制限措置により、出演者の来日が不可能になったため中止。	目標値	710
		水戸芸術館 コンサートホール ATM		実績値	0※
3	今昔雅楽集 三 ～千代の楽人～（東京オリンピック・パラリンピック関連企画）	動画配信： 3 月 1 日～31 日※、 演奏会： 3 月 13 日※	主な演目：芝祐靖（復曲）：敦煌琵琶譜による音楽から、芝祐靖（作曲）：招杜羅紫苑 他 出演：伶楽舎	目標値	ワークショップ 150、 演奏会 470
		水戸芸術館 コンサートホール ATM		実績値	動画配信 33 ※、 演奏会 204※
4	1964 音風景 ～偶然性からの出発～（東京オリンピック・パラリンピック関連企画）	（次年度に延期）※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためと、テーマとする東京オリンピック、パラリンピックが延期となったため次年度に延期。	目標値	400
		水戸芸術館 コンサートホール ATM		実績値	0※
5	ACM 劇場プロデュース近藤芳正の一人芝居 solo work 『ナイフ』	（次年度に延期）※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次年度に延期。	目標値	840
		水戸芸術館 ACM 劇場		実績値	0※
6	ACM 劇場プロデュース音楽劇『夜のピクニック』	10 月 1 日～4 日	原作：恩田陸、脚本：高橋知伽江、演出：深作健太、作曲・音楽監督：扇谷研人、出演：吉川友、剣幸、加藤良輔、安達勇人 他	目標値	2,800
		水戸芸術館 ACM 劇場		実績値	857※
7	ACM ファミリーシアター「長くつ下のピッピ」	11 月（中止）※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度中止。	目標値	1,800
		水戸芸術館 ACM 劇場		実績値	0※

番号	事業名	主な実施日程	概 要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
8	「ゆうくんとマッтさん」演劇公演とおはなし キャリーボックス	演劇公演： 4月29日～5月6日 (次年度に延期)※、 おはなしキャリーボックス： 通年(次年度に延期)※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 次年度に延期。	目標値	1,750
		水戸芸術館 ACM 劇場 他		実績値	0※
9	伝統芸能のススメ	10月21日 他※	出演：柳家喬太郎、柳家花緑、野村萬 他※ 予定した8公演中3公演は、新型コロナウ イルス感染症拡大防止のため次年度に延期。	目標値	2,900
		水戸芸術館 ACM 劇場		実績値	950※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	トップレベルの講師陣による市民のための音楽セミナー	①吹奏楽セミナー： (次年度に延期) ※、 ②合唱セミナー： (次年度に延期) ※、 ③オルガン講座： 7月26日～3月20日	③オルガン講座：講師：室住素子 ①、②は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次年度に延期。	目標値	①吹奏楽セミナー参加者数：135、②合唱セミナー参加者数：250、③オルガン講座参加者数：17
		水戸芸術館 エントランスホール 他		実績値	①吹奏楽セミナー参加者数：0 ※、②合唱セミナー参加者数：0 ※、③オルガン講座参加者数：16
2	茨城の名手・名歌手たち第30回～出演者オーディション＆合格者による演奏会～	オーディション： 令和2年5月24日 (次年度に延期) ※、 演奏会： 11月29日 (次年度に延期) ※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度に延期。	目標値	受験者数：45 入場者数：400
		水戸芸術館 コンサートホール ATM		実績値	受験者数：0※ 入場者数：0※

番号	事業名	主な実施日程	概 要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
3	未来サポートプロジェクト～茨城に縁あるアーティスト支援事業～	3月27、28日	演目：ナナシーの旅 脚本・作詞：高橋知伽江、作曲：片野真吾、演出：高城信江、振付：和田奈未子	目標値	入場者：600
		水戸芸術館 ACM 劇場		実績値	入場者：291※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概 要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	子どもの発達段階に応じた音楽鑑賞教育プログラム	10月5日～12月4日 ※	出演：島田真千子、小林万里子 「水戸室内管弦楽団子どものための音楽会」のみを学校訪問の形態で実施。※	目標値	6,650
		水戸市内の小学校、盲学校、東海村の小学校 ※		実績値	2,061※
2	プロムナード・コンサート	6月13日～3月21日 ※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、パイプオルガン・プロムナード・コンサートのみを実施。	目標値	3,700
		水戸芸術館 エントランスホール、 コンサートホール ATM ※		実績値	1,622※
3	水戸の街に響け！300人の《第九》2020	12月（中止）※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度に延期。	目標値	入場者：3,500
		水戸芸術館広場 他		実績値	0※
4	全館公開避難訓練	2～3月（中止）※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	目標値	600
		水戸芸術館全館		実績値	0※
5	アート教育プログラム～舞台芸術の“学びの場”の創出事業～	5月～3月※	講師：高城信江、塩谷亮、壤晴彦 他	目標値	入場者：400 参加者：4,650
		水戸芸術館 ACM 劇場 他		実績値	入場者：175※ 参加者：2,898※
6	小学生のための演劇鑑賞会	11月（中止）※	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	目標値	入場者：2,400
		水戸芸術館 ACM 劇場		実績値	0※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(1) 妥当性

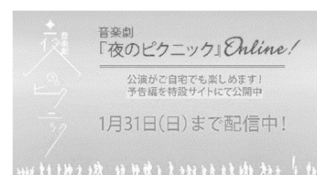
自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

総論：新型コロナウイルス感染症の流行で全ての事業が影響を受け、中止・延期だけでなく実施できた事業も動員規模を含め様々な環境下で実施せざるを得なかった。そうした過酷な状況下でも、地域の人々が安心して安全に楽しめるような環境を作り、実施可能な事業を展開し施設本来のミッションを果たすことにより、地域にこの時期ならではの貢献ができた。

新たな鑑賞フィールドを構築

実施に際しては、従前の計画に基づくだけでなく、こうした危機に市民やアーティストを支える方向性も加味して実施した。緊急事態宣言下で外出が控えられた時期には、ウェブサイト上に「おうちで楽しむ水戸芸術館」を開設し、芸術館のアーカイブを無償で発信し、在宅を余儀なくされた市民の慰めを提供した。



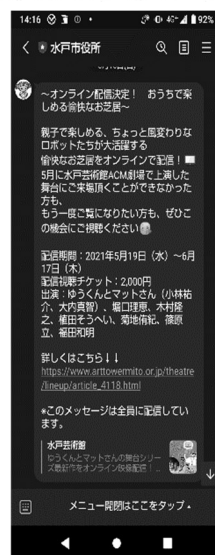
安全な鑑賞環境とオンライン有料配信

コロナが落ちついて上演が実施可能な時期には、コロナ対策下で可能な限りの最大数となる新しい数値目標を設定し、それを達成する努力をした。同時に有料のオンライン配信も実施し、収入を下支えした。

新たな宣伝ツールの開拓

またコロナ対策で、チラシなどの宣伝ツールが陳腐化する中で水戸市と提携し、市のライン・ツイッターを新たな情報伝達ツールとし、日々状況が変わる中でも適切な情報発信を行った。教育普及系事業でも従来のやり方に拘らず、環境の整う外部施設での実施、オンラインでの通信教育も実施した。

結果的には実施したどの事業もその新定員を満たし、一人の感染者も施設から出すこともなく、多くが成功裏に事業が実施できた。また市民とアーティストを支えるための新企画（オーディオドラマ）を立ち上げ、「最貧前線」では全国の6公共劇場と連携しその全国発信も行い、地域だけでなく広く日本へアートの持つ力を実証した。こうして機動的に実施した事業は、市民から圧倒的に支持された。逆説的ではあるが、当該年度の企画の方向性だけでなく、施設の地域の役割や存在意義を市民が深い理解をする機会にもなった。



助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

総論：上記のようにそれまでのリソースも活用しつつ、コロナ禍でも立ち止まることなく芸術活動を進めたことで、市民に改めて芸術館の存在意義や、危機におけるアートの有効性を再認識してもらえた（社会的意義）。

これに加え、新たに取組んだ「オーディオドラマ」では、コロナでも失われゆく雇用を再創出するという得難い成果も成し遂げ、助成の意義が継続的に認められている（経済的意義）。こうした活動を通じて、芸術館の地域社会の支援・貢献が認められ、またこの時期でも地域の文化活動が高いレベルで継続できた意義も大きい（文化的意義）。劇団協議会機関誌ジョインでも、芸術館の活動が大きく評価された。

COVID-19対策
公共劇場緊急共同企画

オーディオドラマ版

『最貧前線』

～「宮崎駿の雑想ノート」より～

原作: 宮崎 駿
脚本: 井上 桂 演出: 壤 晴彦

© 2019 by 13
AUDIO DRAMA SERIES ●



2019年、感動を巻き起こした舞台版「最貧前線」、今度は「見習いの物語」として戻ってきます！

企画 江戸川幸徳(AGC劇場)・KAT 神宮川幸徳(劇場)・東京15歳青少年センター・徳の国とよほし芸術劇場FLA・サントミューゼ
 (こじ市立児童文化芸術センター)・ウーとびあ 新潟市児童文化会館・兵庫県立芸術文化センター・大和町文化創造拠点シノリス

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

総論：コロナ禍によって中止を余儀なくされた企画は多いが、数値目標を再設定して実施できた目標（当初目標として掲げた①市民の芸術活動のスキルの向上、②人材の育成、③市民の理解の拡大など）は、新定員を満たすだけでなく、参加者に大きな感動をもたらすことができ、満足度においては過去最大だった。芸術活動のそのものの意味や意義だけでなく、市民生活に於ける芸術活動の有効性や意義を実証もできた。

- ① 演劇部門の教育普及事業では、緊急事態宣言下でもオンラインを活用して通信教育を実施し、宣言解除後の対面レッスンに備えたレッスンが実施できた。年間を通じての事業だっただけに、こうした対応で初期に参加に慎重な市民の安全意識に応え、参加数を下げ止まらせることにもなり、再開に際してもレッスンの質を高いままに維持でき、年度末の発表会の成果も高いものとなった。

オンラインレッスン実施状況		
ミュージカルスクール		朗読
開始日	5月17日	5月23日
終了日	3月28日	2月14日
実施回数	44回	25回
総参加数	1,622人	1,276人
オンライン参加	578人	610人
	35%	48%
%は通信教育が担った分		

- ② 演劇部門の公演では、有料配信を実施して、当初予定動員数を下支えた。実施に際しては、配信前にマーケティングを行い、事前予約 1,000 件確保して実施した。こうした努力で、舞台公演と有料配信で 2,333 名の観客数となり、当初予定に対して 77%となる動員を確保することができた。またこの仕組みを次年度も使えるものとし、それ以降の類似企画のベースとなるようにした。

夜のピクニック実施状況				
	予定		実施	達成率
回数	10	→	5	50%
価格	5,000	→	3,500	70%
客数	3,000	→	1,000	33%
収入	1500万	→	350万	23%
配信	鑑賞数	+	1333人	+14%
	収入	+	300万	+20%

- ③ 音楽部門では、例年は市内体育館で市全域及び近郊の小学5年生2,500名を招いて実施する「水戸室内管弦楽団 子どものための音楽会」がコロナ禍で開催できなかったため、水戸室内管弦楽団のメンバーがコロナ対策の整う市内や近郊の小学校、盲学校に出向き訪問コンサートを実施。25校の2,061名の児童に生演奏を本年も届けることができた。

- ④ 4月の緊急事態宣言下でもいち早く立ち上げた水戸芸術館 HP 内に「おうちで水戸芸術館」を展開し、芸術館のアーカイバルを活用した様々なソフトで、全国で逼塞する市民へ、ひと時の慰めを届けることができた。音楽部門は水戸室内管弦楽団などの名演奏全 37 タイトル（新規作成 1 タイトル）を配信した。演劇では、配信した全 16 タイトルのほとんどが新規に作成したもので、その時の地域のニーズに応えた。

音楽・演劇両部門の配信は全国で楽しまれ、88,000 件を超える視聴回数を記録した。これは当館の H30 年度の企画事業での総鑑賞者 27,000 名の 3 倍を超える数値である。特に音楽の配信では、欧米各国からも多くのアクセスがあり、芸術館の国際性も高めた。コロナが蔓延する前に想定した企画事業を大幅に上回る鑑賞者を、HP 上のソフトで代替える以上に達成できたことは、当館の存在意義の実証も含めて大きな成果となった。



音楽映像配信数（R2 年度）		
日本	67,280	94.0%
米国	1,273	1.8%
ドイツ	377	0.5%
台湾	310	0.4%
フランス	210	0.3%
イギリス	206	0.3%
韓国	148	0.2%
香港	137	0.2%
オランダ	120	0.2%
チェコ	112	0.2%
スペイン	109	0.2%
その他	1,280	1.8%
トータル	71,562	100.0%

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

総論：予定はすべて狂って、当初計画を急遽練り直し実施した。事業は出来得る限り実施し、活躍や研鑽の場を失ったスタッフキャストにとっては支援ともなった。収入に関しては、中止や減らさざるを得なかった定員で激減したものの、有料配信やオンラインレッスンも実施し、収入の下支えとなるようなシステムを構築した。また新たにオンラインショップを開設し同様の努力を重ねた。全ての点で大きな変更を強いられたが、急遽立て直した計画を速やかに実施した内容については、最善のものであると認められる。

それは、こうした努力で緊急事態宣言下でも芸術活動が質をキープしたまま継続できたことによって、地域社会だけでなく日本各地に水戸芸術館ならではの大きな貢献ができ、市民から高い評価を得ることができたからで、また年度に繋がる市民や他施設との新たな関係が構築できたからである。

特に過去に質の高い事業を継続してきたことによって、そのアーカイバルをリソースとして活用でき、危機の時代に柔軟な対応ができた意義は大きいと考えている。

配信タイトル名			配信期間	再生数	
音楽部門	水戸室内管弦楽団	第105回 チャイコフスキー：弦楽のためのセレナードハ長調作品48より第1楽章	4月21日 ～ 5月 6日	4,463	
		第106回 メンデルスゾーン：交響曲第4番イ長調作品90（イタリア）	4月21日 ～ 5月 6日	3,365	
		第100回 ベートーヴェン：交響曲第9番	4月29日 ～ 5月31日 9月 4日 ～ 9月18日	11,505	
		第90回 モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調K.314	5月22日 ～ 6月 5日	539	
		第95回 モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調K.622水戸	5月22日 ～ 6月 5日	384	
		第104回 ロゼッティ：ホルン協奏曲 ニ短調MurrayC38	5月22日 ～ 6月 5日	368	
		第103回 ウェーベルン：弦楽のための5つの楽章作品5	5月29日 ～ 6月12日	330	
		第102回 ストラヴィンスキー：組曲＜ブルチネツァ＞	5月29日 ～ 6月12日	399	
		第105回 ショスタコーヴィチ（パルシャイ編曲）：アイネ・クライネ・シンフォニー作品49a	5月29日 ～ 6月12日	476	
		川崎公演 モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調K.364(320d)	6月12日 ～ 6月26日	929	
		第102回 カパレフスキー：チェロ協奏曲 第1番短調作品49	6月12日 ～ 6月26日	1,081	
		第65回 モーツァルト：協奏交響曲変ホ長調K.Anh.9(297B)	7月17日 ～ 7月31日	536	
		別府 モーツァルト：ディヴェルティメントK.136より第1楽章	7月24日 ～ 8月 7日	511	
		第90回 ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調作品92	7月31日 ～ 8月14日	883	
		第104回 水戸室内管弦楽団第104回定期演奏会	8月 7日 ～ 8月21日	381	
		第95回 ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調作品67	8月28日 ～ 9月11日	936	
	新ガヴァット同盟	第1回 ハイドン：ピアノ三重奏曲第39番ト長調Hob.XV-25作品73の2	5月 2日 ～ 5月16日	2,082	
		第1回 シューマン：ピアノ五重奏曲変ホ長調作品44	8月21日 ～ 9月 4日	2,741	
		第2回 シェーンベルク：室内交響曲作品9（ピアノ五重奏版）	5月15日 ～ 5月29日	1,353	
		第2回 モーツァルト：ピアノ四重奏曲第2番変ホ長調K.493	5月15日 ～ 5月29日	6,796	
		第3回 レーガー：弦楽三重奏曲第1番 イ短調作品77b	6月 5日 ～ 6月19日	453	
		第4回 フランク：ピアノ五重奏曲ハ短調	6月 5日 ～ 6月19日	994	
		第4回 コダーイヴァイオリンとチェロのための二重奏曲作品7	6月 5日 ～ 6月19日	659	
		第5回 ブラームス：ピアノ四重奏曲第2番イ長調作品26	6月26日 ～ 7月10日	915	
		第5回 シューマン：幻想小曲集作品73	6月26日 ～ 7月10日	327	
		第5回 コダーイ：間奏曲	6月26日 ～ 7月10日	395	
	その他	中学生のための音楽鑑賞会ベートーヴェン：人間、音楽家、伝説	5月 5日 ～ 5月19日	1,447	
		ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第7番変ロ長調作品97（大公）	5月 8日 ～ 5月22日	1,410	
		タマーズ：フルートとハーブのためのソナタ第1番	6月19日 ～ 7月 3日	328	
		J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番	6月19日 ～ 7月 3日	609	
		野平一郎によるモーツァルトモーツァルト：ピアノ・ソナタ全曲演奏会	7月 3日 ～ 7月17日	376	
		児玉桃によるドビュッシー第2回「ドビュッシーとショパン」より	7月 3日 ～ 7月17日	286	
		スガダイロープロジェクトvol.2秘境魔境	7月10日 ～ 7月24日	323	
		ラッヘンマンの肖像	8月14日 ～ 8月28日	179	
		水戸室内管弦楽団第1回定期演奏会終演後の吉田秀和初代館長スピーチ（音声）	9月 4日 ～ 9月18日	280	
		OrganOdyssey～バイブオルガンとプロジェクトマッピングの華麗な共演～	9月 5日 ～ 3月31日	1,510	
		入門 はじめての雅楽	3月 1日 ～ 3月31日	63	
音楽計			37タイトル	50,612	
演劇部門	ゆうくんと マットさん 地域応援動 画	てあらいチャレンジ！	4月 8日 ～ 3月31日	1,327	
		おうちで食べよう♪ 水戸グルメReport①	4月28日 ～ 3月31日	1,052	
		おうちで食べよう♪ 水戸グルメReport②	5月 6日 ～ 3月31日	453	
		おうちで食べよう♪ 水戸グルメReport③	5月14日 ～ 3月31日	355	
		ゆうくんとマットさんの水戸芸術館de謎ときウォーク	6月25日 ～ 3月31日	737	
	その他	水戸子どもミュージカルスクール 受講生有志によるテレワーク合唱	5月 2日 ～ 3月31日	2,688	
		演劇公演	『海辺の鉄道の話』（2017年上演作品）		2,068
			「 トレーラー	4月21日 ～ 5月31日	1,512
	「 アフターレポート		12月18日 ～ 2月 7日	608	
	オーディオ ドラマ	オーディオドラマ版『最貧前線』～宮崎駿の雑想ノートより～ 全7話	6月 ～ 8月 12月 ～ 2月	22,900	
		オーディオドラマ版『斜交』～昭和40年のクロスロード～ 全6話		1,099	
		「 トレーラー	12月12日 ～ 2月 7日	279	
		「 インタビュー		213	
	演劇公演 予告	近藤芳正の『ナイフ』が戻ってくる！PV		624	
		「 インタビュー	7月 7日 ～ 3月31日	263	
	演劇公演	音楽劇『夜のピクニック』有料配信	11月 1日 ～ 1月31日	1,333	
演劇計			16タイトル	37,511	

（表は令和2年度事業報告及び決算書より配信事業部分を抜粋）

(4) 創造性

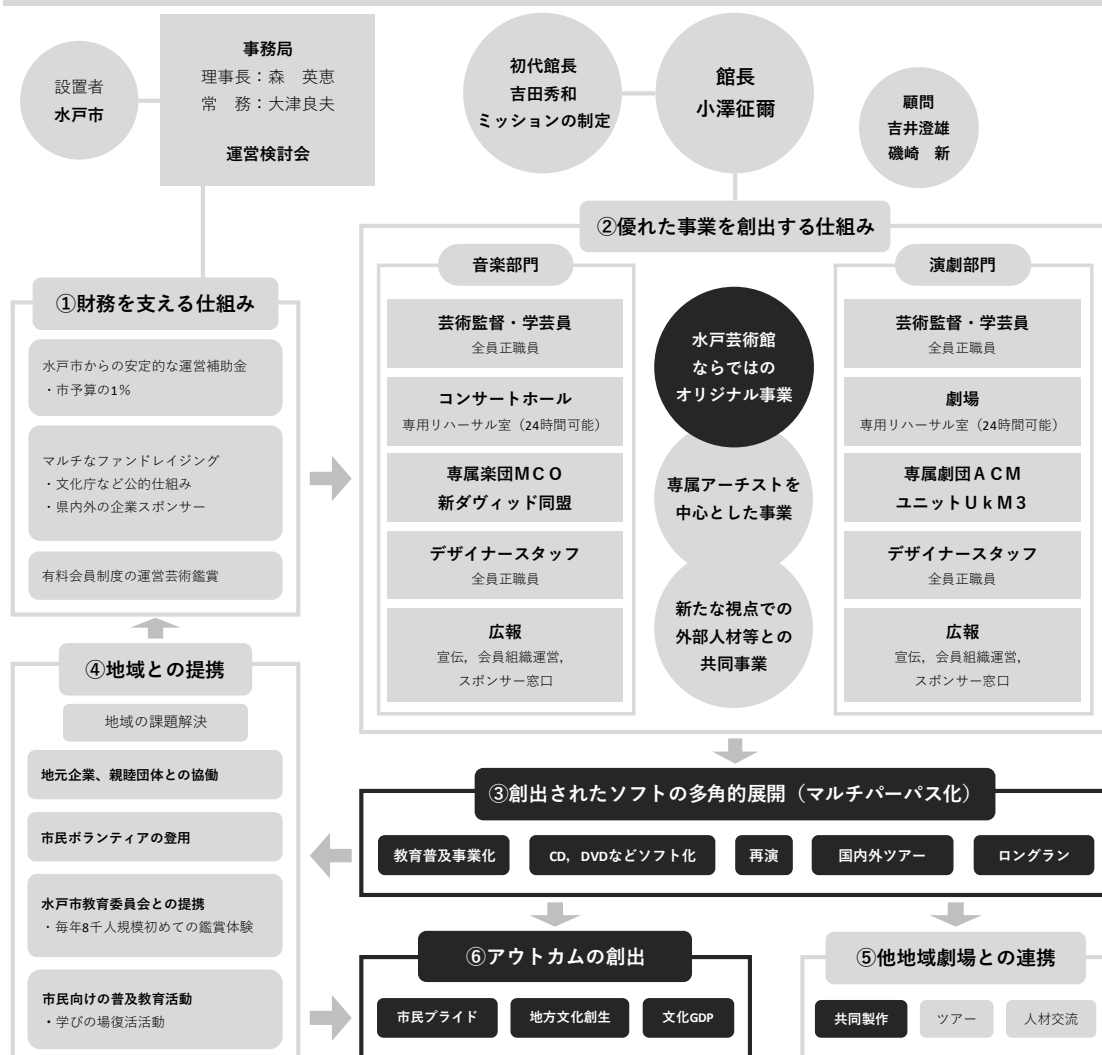
自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

総論：コロナ禍という環境下でも、芸術館が培ってきた仕組みを発展させ、優れたアーカイバル・ソフトで、いち早く市民を支える仕組みを構築した。同時に、アーティストを支える仕組みも模索し、その中からアフターコロナを見据えてアーティストを支える新企画（オーディオドラマ）を全国で唯一実施しただけでなく、共同製作としてこの時期に芸術活動に苦慮する他施設への支援を行った。教育普及事業も可能な限り実施し、次世代の若者たちへ芸術の可能性を届け続けた。このこと自体が、水戸芸術館の創造性の誇れるところで、これまでの地域や他施設との連携の結果でもある。優れたソフトを作るだけでなく、そうしたソフトが生み出せる創造性豊かな文化拠点であると自負するところでもある。

下図は、水戸芸術館の運営と創作の仕組みを説明するもの（令和元年度の成果報告書で使用）であるが、今回の事態に当たっては、黒背景で強調した部分を最大限に活用して、速やかな対応を実現させた。音楽部門は緊急事態宣言下中に過去のリソース中心にウェブサイト上で鑑賞可能な形でいち早く提供した。演劇部門はその間、新たなHP上でのソフト製作の準備を行い緊急事態宣言が解除されるや制作に着手し、失われる一方のアーティストの仕事場を創出した。出来上がったソフトは、全国の公共劇場と提携して全国の市民に提供出来た。このように音楽部門と演劇部門のそれぞれの特性と持ち味を活かし、実演芸術だけでなく、年間を通じてさまざまな有益な文化活動を継続して実施できた意義は大きい。これはこれまでに積み重ねてきた土台の大きさによるものである。

水戸芸術館の事業を支える仕組みと特色（美術部門を除く）



2020年8月8日(土)茨城新聞

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

総論：コロナ禍の緊急事態宣言下によって全国的に芸術活動や組織活動が低下している中、水戸芸術館はそれまでのリソースを活用する形でいち早くウェブサイトになたな作品鑑賞フィールドを立ち上げ、その間にもそのフィールドに相応しい新ソフト（オーディオドラマ）を作り出した。また、行政と提携し、ラインなどの発信ツール活用し、それまでのチラシ印刷数以上に地域のより幅広い世代に情報をリアルタイムで届けることができた。以上のような柔軟で機動力の富んだ運営により、通常水戸芸術館が対象としているエリアだけでなく、演劇では全国へ、音楽は世界へ、コロナ禍での癒しを届けることができた（ウェブサイト上でのオンラインソフトの鑑賞者数だけでも、平時の同種の事業の鑑賞者の3倍を超すアクセスを得ることができた）。

こうした活動姿勢と活動実績から、地域との連携が更に深まり、新たなニーズも掘り起こすことができた。その成果を一過性のものにとどまらず、地域の実情に更に寄り添った活動へと発展させている。

音楽部門では、医療従事者向けにプロムナード・コンサートを実施したが、それを発展させる形で本年度にも特別コンサートを企画し、地域の実情に寄り添った企画としてさらに発展させている。本年度は水戸芸術館だけでなく、県内に複数の施設への小規模ツアーとしても実施され、鑑賞者希望者がより気軽に参加できるものへと発展している。芸術館ならではの企画が柔軟で機動力のある運用により、より地域のニーズに即したものとなっているだけでなく、コロナによって困窮したり、多大な心労を伴う職業となった医療従事者への支援とも位置付けている。この趣旨の企画は、演劇部門でも準備中である。



演劇部門では、規模を縮小して実施した音楽劇「夜のピクニック」に出演した地元のアーティストを改めて登用し、本年度には県内のアーティストを中心に育成と支援を目標とした演劇作品「めざせ“ミュージカル水戸黄門”？」に発展した。同様に、2017年の舞台作品「斜交」を、オーディオドラマ化した。これもコロナで公演が中止となった弊館企画作品「ナイフ」の主演俳優・近藤芳正氏と、地元出身の俳優との二度目のコラボとなった。この作品自体、地元土浦市の出身の昭和の名刑事をモデルにした物語であり、地域の先人を顕彰する内容で地域にエネルギーを届けることができ、演劇として公演した時の鑑賞者以上に、アクセスを得ることになった。



以上のように、コロナ禍への緊急に実施した対応をベースに、地域とのコミュニケーションを重ね、今、地域に必要とされる活動を検証して、速やかに実施する態勢を目指している。